平成30年度

「松原市・多職種による“認知症”学び合いの場」

アンケート報告書

松原市医師会　医療介護連携支援センター
松原市地域包括支援センター社会福祉協議会
松原市地域包括支援センター　徳洲会

はじめに

急速な高齢化社会で認知症になる方も急激に増加しています。そのため、認知症の方に関わる人の数も急激に増加していますが、他の業種と異なり、比較的小規模な事業所が多く、毎日の自分の仕事に追われるため、他の人は、他の職場ではこんなときどのようにしているのかを知る機会が少ないという問題をかかえています。このような状況で、認知症の方に接する機会の多い様々な職種の人たちが、それぞれの立場からお互いの意見を述べたり、聞かせていただいたりする場を作ることがなによりも大切だと思われます。第1回目を平成30年7月11日に開催し、平成30年度は延300名の参加者がありました。

今回、実施報告と皆様から頂いたアンケートをまとめていただきました。次年度以降の本会の運営に役立てていきたいと思います。

松原医師会 医療介護連携センター長 李利彦

1. 開催内容

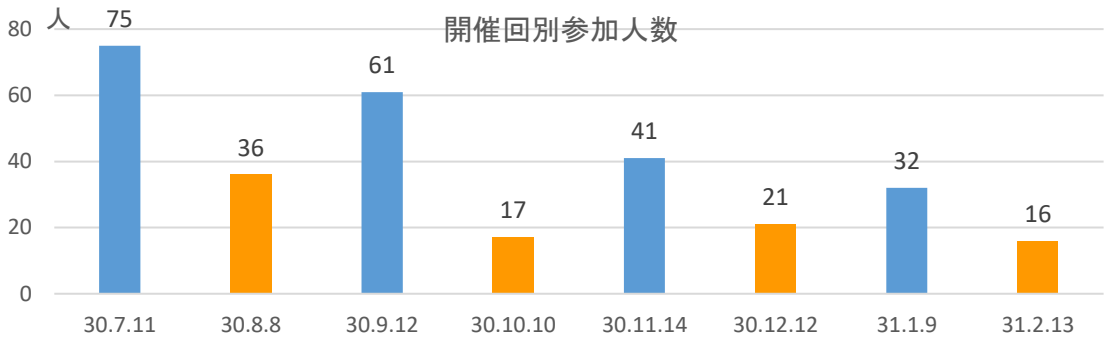
多職種が参加しやすいよう同じ内容を時間を変えて昼の部、夜の部で開催。

月　日	内　容 事例提供後グループワーク	事例報告者	参加者数（アンケート）
平成30年 7月11日(水) 14：00～15：30	「今後あなたならどのような支援を提案しますか？」 若年性認知症　64才　男性	李クリニック 李医師	75名 （58枚）
8月 8日(水) 19：00～20：30			36名 （33枚）
9月12日(水) 14：00～15：30	「今後あなたならどのような支援を提案しますか？」 前頭側頭型認知症の一例　77才　男性	李クリニック 李医師	61名 （47枚）
10月10日(水) 19：00～20：30			13名 （11枚）
11月14日(水) 14：00～15：30	「認知症の初期対応について 介護保険サービス利用者の配偶者が認知症を疑う状況になった際度のタイミングでどのように対応すればよいのか）」 ともに認知症の夫婦　80代	社協包括 佐伯氏 コメンテーター 李クリニック 李医師	41名 （34枚）
12月12日(水) 19：00～20：30			21名 （17枚）
平成31年 1月 9日(水) 14：00～15：30	「薬剤師が対応していて気になるケース」 A　患者のふだんの状態を家族が医師やCMに伝えられない B　認知症患者の状態変化しても本人が受診しないと薬が変わらない	あお薬局 松山氏 コメンテーター 李クリニック 李医師	31名 （19枚）
2月13日(水) 19：00～20：30			16名 （10枚）
3月20日(水) 19：00～	「平成30年度学び合いの場の実施報告と交流」終了後懇親会あり	交流会	51名

2. 参加状況

【参加人数】　　実人数　192名　　延べ人数　301名
＊申込があったものの当日参加できなかった人21名

開催初回は75人と最大人数で、認知症の学びを多職種で行うことの関心の高さをうかがわせた。また開催を追うごとに参加人数は少なくなっていったが、「グループワークでの話を十分行うことができたので少ない人数でよかった」という感想もあった。

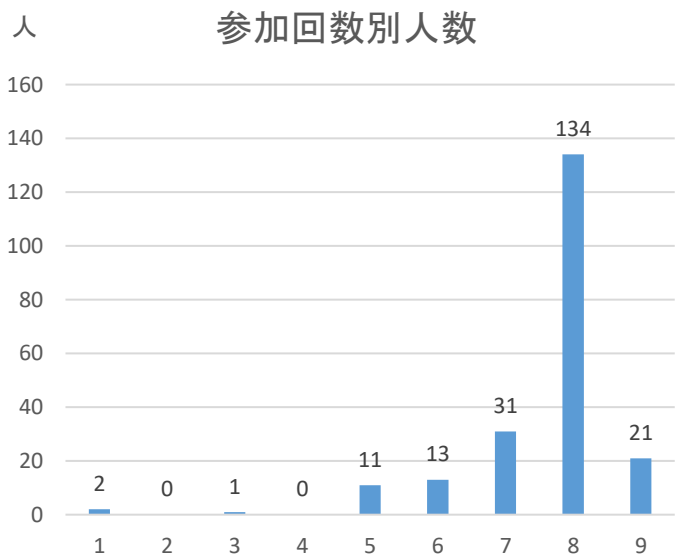


【職　　種】　　19職種
医師、薬剤師、看護師、理学療法士、ケアマネージャー、ヘルパー、デイサービス、オレンジまつばら(認知症初期集中支援チーム員）、施設職員(介護付き有料老人ホーム、住宅型有料老人ホーム、サービス付き高齢者住宅)、福祉用具専門相談員、相談支援専門員(障害福祉)、生活支援コーディネーター、医療コーディネーター（松原市医師会）、医薬品卸業者、松原市役所高齢介護課、松原市地域包括支援センター徳洲会・社会福祉協議会スタッフ

【参加事業所】　　110事業所
地域包括支援センター、薬局、デイサービス、介護付き有料老人ホーム、住宅型有料老人ホーム、サービス付き高齢者住宅、居宅介護支援事業所、ヘルパーステーション、診療所、病院、訪問介護、訪問看護、医薬品メーカー、NPO法人

【参加回数別内訳】

参加回数	参加人数
8	2
7	0
6	1
5	0
4	11
3	13
2	31
1	134
0(申込のみ)	21
計	212



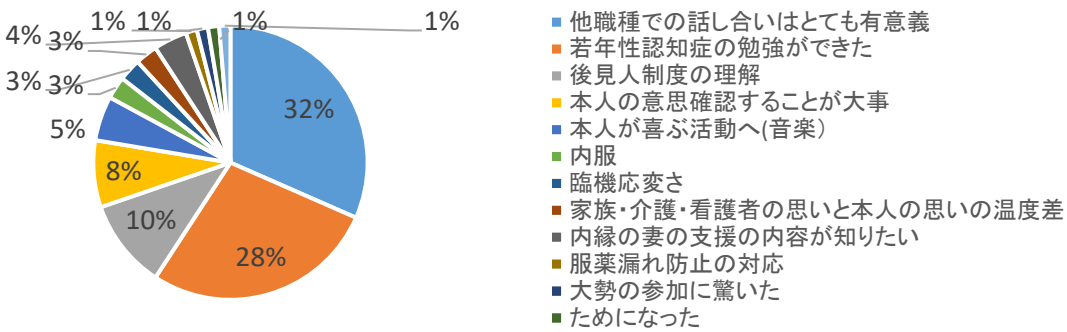
3. アンケート報告

「今後あなたならどのような支援を提案しますか？」
若年性認知症　64才　男性　　李クリニック　李医師

【第1回】平成30年 7月11日(水) 14:00～15:30　参加者　75人

李医師より30分間事例紹介したのち、自分だったらどんな支援が提供できるか、
8グループに分かれて討議、発表を行った。　　**アンケート回答58枚（77.3%）**

1. 本日参加されての感想をお聞かせ下さい。特に印象に残っている事等あればお聞かせ下さい。



2. 現在、認知症の事でお困りの事やお困りのケースはありますか。

独居で服薬困難	5
進行について	2
家族の病気の理解がない	4
家族も認知症・障がい者	3
介入が難しい	2

各1件
認知症の判断、幻覚、コミュニケーション方法、疼痛が出現し受診を繰り返す人、孤立しがちな人、効果的な訓練方法について、帰宅願望や意思疎通困難者への対応、施設での過ごし方、独語・大声、新人職員への攻撃、徘徊、本人の認知症が自覚がない、被害妄想・暴言・暴力、隣人トラブル、意思決定支援と社協の金銭管理サービスが使えない。（順番が廻ってこない）、インフォーマルサービスにつなげられない、レスパイト受け入れが難しい

3. 今後この研修会で学びたいこと等あればお聞かせください。

意見交換したい	5
事例	5
認知症について	5
サービスについて	3
各事例や施設での意見交換	2
家族問題により支援困難ケース	2

各1件
受診勧奨、高次脳機能障害、難病、薬効と副作用、支援について、パーキンソン氏病、精神、看取り

【第2回】 平成30年 8月 8日(水) 19：00～20：30　　参加者36人

李医師より30分間事例紹介したのち、自分だったらどんな支援が提供できるか、
3グループに分かれて討議、発表を行った。　　**アンケート回答33枚（91.6%）**

1. 本日参加されての感想をお聞かせ下さい。特に印象に残っている事等あればお聞かせ下さい。

多職種で意見交換できてよかった	17
若年性認知症の大変さ・困難さ	15
認知症テスト・検査	3
成年後見	1

2. 現在、認知症の事でお困りの事やお困りのケースはありますか。

本人が拒否	4
暴言・暴力への対応	4
頻回の電話等衝動行為について	3
受診勧奨の難しさ	2
服薬管理が難しい	2
認知症なのか精神疾患なのか	2
家族へのかかわり	2
介護職として寄り添い方に迷っている	2
介護保険の限界	2
地域貢献の方法	1

3. 今後この研修会で学びたいこと等あればお聞かせください。

服薬の種類と効果	5
事例	5
接し方・コミュニケーションについて	4
認知症ケアの情報	2
家族アプローチ	2

各1件
若年性認知症などの本人の話を聞きたい、認知症初期における改善方法、地域貢献、認知症と精神疾患の対応方法の違い、認知症カフェ、認知症本人の役割づくり、進行を遅らせる方法、緊急支援のタイミング、早期発見、多職種の業務内容について聞きたい

「今後あなたならどのような支援を提案しますか？」
前頭側頭葉変性症患者の一例について　77才　男性
李クリニック　李医師より事例提供、グループワーク

【第3回】 平成30年 9月12日(水) 14：00～15：30　　参加者61人
李医師より30分間事例紹介したのち、自分だったらどんな支援が提供できるか、
9グループに分かれて討議、発表を行った。　　**アンケート回答47枚（77%）**

1. 本日参加されての感想をお聞かせ下さい。特に印象に残っている事等あればお聞かせ下さい。

認知症の前頭側頭型認知症について学べた	11
病気を理解する（わがままではない）	7
多職種の意見交換により勉強になった、グループでの見解の相違を学べた	4
事例に沿っていたのでわかりやすかった	3
常同行動について理解できた	2

各1件
認知症のパターンの違い、本人中心のサービスを考える、SOSネットワークがある、
共感できる場や仲間の提供も援助の一つと学んだ

2. 現在、認知症の事でお困りの事やお困りのケースはありますか。

認知症の症状について	4
介護疲れ	2
デイの利用拒否	2

各1件
何度も電話等が続く時の対応、プライドを傷つけない対応、初期の認知症の方のプライドを傷つけない介護方法、入浴拒否の方が難しい、ADLは維持されているが認知症状は進む、服薬もどんどん増えるがADLが低くなる、帰宅願望、外出願望、病院を転々とする、妻への暴力、幻覚・幻聴・嫉妬妄想、夜間多動、レビー小体型認知症への対応を知りたい、故人の家族のおかずを大量買いする、デイ利用のない日に食事や水分摂取が難しい、高次脳機能障害、心房細動を何度も起こすが理解できない人、排便コントロール不良、薬の管理ができない人、性的逸脱、会話が成立しない、精神病あり

3. 今後この研修会で学びたいこと等あればお聞かせください。

認知症の対応方法	5
色々な事例	4
多職種連携	3
松原市の制度、事業	2

各1件
レビー小体型認知症、SOSとは、認知症カフェ、薬の知識、難病支援

【第4回】 平成30年 10月10日(水) 19：00～20：30　　参加者13人

李医師より30分間事例紹介したのち、自分だったらどんな支援が提供できるか、
2グループに分かれて討議、発表を行った。　　**アンケート回答　11枚（84.6%）**

1. 本日参加されての感想をお聞かせ下さい。特に印象に残っている事等あればお聞かせ下さい。
＊参加者が少ないため原文のまま掲載

・認知症の検査内容を詳しく話して頂け、勉強になった
・自分の知らない知識を持つ事が出来た
・意味のない行動を意味のある行動にかえていくという話を取り入れてきたいと思った
・家族に認知症状の理解をして貰う事が大事と分かった
・ケアマネ自身しっかり理解しないといけないと思う
・コープさんの小規模多機能での対応が素晴らしいと思った
・色々な職種の方の意見が聞けてとても良い経験が出来た
・その方の病状を理解すること、その人を知る事の大切さ
・今後の利用者への対応にとても役立つ時間になった
・少人数でよかった
・診断基準の詳細

・認知症の分類やテスト方法を知り、問題行動に対する対応をたくさん知り勉強になった
・実際のケースで討論し、他業種の人が何を重視するのか何から支援していくのか知れたこと
・初めての参加で普段なかなか接する事のない人たちとディスカッションでき、大変良い経験になった
・前頭側頭型認知症の症状、問題行動を詳しく知る事が出来た。症状を知った上で対応を考えるとより具体的な対応としてディスカッションする事が出来た。
・認知症状によって行動が様々に現れるが、驚く行動をする事が印象に残っている
・前頭側頭型認知症を疑う特徴
・症状に伴う支援を検討することができた

2. 現在、認知症の事でお困りの事やお困りのケースはありますか。

・前頭側頭型認知症の支援方法
・徘徊で行方不明になり保護された方を担当しています。介護力の乏しい家族で本人の安全を守りながら支援する事に悩んでいる
・社協包括へ最近つないだケース
・今日、軽度者レンタルで来庁されたケース（認知症から生活パターンも変わり最近になってアルコール飲酒が加わったケースで夫のみで介護しておりサービスはレンタルのみ）
・高齢者の意欲低下に非常に危機感を覚える
・原因や対応について
・認知症の進行が速くどうすれば進行を遅らせる事が出来るのか？対応に困っている
・本人の記憶を失うスピードの速い事例、入院後に認知症状の進行が速く生活できなくなった
・コミュニケーションの取り方
・デイの利用を望んでいるが認知症が進んで大声で帰宅願望がある方の行動
・高次機能障害の方への対応

3. 今後この研修会で学びたいこと等あればお聞かせください。

・質問等できる場があれば良いと思う
・認知症の様々な困難事例を学びたい
・医師の役割、相談を受ける人の役割、サービス提供側の役割
・パーキンソン氏病について
・薬についての理解を深めたい

「認知症の初期対応について
(介護保険サービス利用者の配偶者が認知症を疑う状況に
なった際、どのタイミングでどのように対応すればよいのか）」
ともに認知症の夫婦　80代

【第5回】 平成30年 11月14日(水) 14：00～15：30　　参加者41人
社協　佐伯氏より30分間事例紹介したのち、自分だったらどんな支援が提供できるか、
8グループに分かれて討議、発表を行った。　　アンケート回答34枚（75.5%）

1. 本日参加されての感想をお聞かせ下さい。特に印象に残っている事等あればお聞かせ下さい。

本人のためにするという一番多大事な前提を再認識できた	19
多職種で多角的な視点が勉強になった	6
事例検討で分かりやすかった	5
本日の事例は困難事例ですね	2
戸惑うことが多く発言できなかった	2

各1件
家族の病識不足では支援が進まない、軽い認知症だった祖母に、もう少し共感してあげればよかったと思った、本人の多場に立って考えることの大切さを学んだ

2. 現在、認知症の事でお困りの事やお困りのケースはありますか。

独居の認知症者	3
短期記憶の低下によりサービス利用につながらない	2

各1件
認知症と障害のある家族、介護拒否、大声を出す近隣者への支援、病識がない人、運転をやめない人、食べることを忘れる（低栄養・脱水の心配）、スタッフの高齢化

3. 今後この研修会で学びたいこと等あればお聞かせください。

事例を学びたい　　4件

各1件
脳トレなどのツール触ってみたい、多職種の意見が聞きたい、服薬でどの程度進行を遅らせることができるのか、データに基づいた結果を勉強したい、キーパーソンへの教育について、精神などの対応や医療との連携・ケア、認知症について、Drとの情報交換について、AIについて、老々介護、運転免許返納が必要なケース、生活と被害妄想、専門医へつなげる工夫

「認知症の初期対応について
(介護保険サービス利用者の配偶者が認知症を疑う状況に
なった際、どのタイミングでどのように対応すればよいのか）」
ともに認知症の夫婦　80代

【第6回】 平成30年 12月12日(水) 19：00～20：30　　参加者21人
社協　佐伯氏より30分間事例紹介したのち、自分だったらどんな支援が提供できるか、
3グループに分かれて討議、発表を行った。　　アンケート回答17枚（80.9%）

1. 本日参加されての感想をお聞かせ下さい。特に印象に残っている事等あればお聞かせ下さい。

多職種の意見が聞けて良かった	4
介入のタイミングについて、議論できたこと	3
同様のケースを担当している	3

各1件
ケアマネが家族の関係性を把握することの難しさが伝わってきた、早期発見と早期受診への難しさが伝わった、薬剤師からの情報も必要、医療と介護の連携の大切さ、ケアを拒否しても断続をしてケアしていくことの大切さ、ケアマネージャーの現場の生の声が聞けて良かった、医療との連携

2. 現在、認知症の事でお困りの事やお困りのケースはありますか。

家族の理解がない	4
サービス利用につながらない	2

各1件
頑固な性格、家族の理解や協力が困難なケース頑固な生活、一人ひとり症状が違うので対応が難しい、セルフネグレクト、デーサービス拒否、独居の認知症、サービスにつながらない人、若年性認知症本人との申請で、困りごとを聞きにくい、徘徊で他人の住居に入りこむ、独居でアルコール摂取し意欲低下、家族もサービスの導入考えていない、運転をされているケース、妄想が強いケース(近所とのトラブル）

3. 今後この研修会で学びたいこと等あればお聞かせください。

各1件
今回のように認知症の困難事例を学びたい（独居や老夫婦）、多職種との連携(医療と介護）、制度以外の社会資源、家族に対するアプローチの仕方、認知症の薬のやめ時について、眠気があったり、空腹状態に機嫌が悪くなり、他社に暴言を発したり、暴力的になる利用者の対応方法など。各々の職務で困っている点など、介護サービスを拒否する人へのサービスのつなげ方、こんな感じで参加する。プラスが絶対あるので。ブランチのお仕事の内容よくわからない、多職種との連携(医療と介護）、制度以外の社会資源

「薬剤師が対応していて気になるケース」
A　患者のふだんの状態を家族が医師やCMに伝えられない
B　認知症患者の状態変化しても本人が受診しないと薬が変わらない

【第7回】 平成31年 1月9日(水) 14：00～15：30　　参加者31人
あお薬局　松山氏より30分間事例紹介したのち、自分だったらどんな支援が提供できるか、5グループに分かれて討議、発表を行った。　　アンケート回答19枚（61.2%）

1. 本日参加されての感想をお聞かせ下さい。特に印象に残っている事等あればお聞かせ下さい。

多職種の意見が聞けて良かった	4
介入のタイミングについて、議論できたこと	3
同様のケースを担当している	3

各1件
ケアマネが家族の関係性を把握することの難しさが伝わってきた、早期発見と早期受診への難しさが伝わった、薬剤師からの情報も必要、医療と介護の連携の大切さ、ケアを拒否しても断続をしてケアしていくことの大切さ、ケアマネージャーの現場の生の声が聞けて良かった、医療との連携

2. 現在、認知症の事でお困りの事やお困りのケースはありますか。

薬の飲み忘れ　3件

各1件
内服薬の変更などの情報があればありがたい、生活に支障が出ているのに介入拒否、認知症の方の受診について

3. 今後この研修会で学びたいこと等あればお聞かせください。

情報の伝え方講座とかどうでしょう。医療職の報告は無駄がなくわかりやすい。福祉職は長々と分かりづらい（良いケースもあるが。。。）
認知症で新しい事、医療で変わったことあれば教えてほしい。
高齢の認知症患者はどれくらいから内服治療がいるか。内服加療は必須ではないか。
高齢者の「脳トレ」のツールがあります。もし、ご興味があれば触る機会を頂戴できませんでしょうか。
権利擁護について、成年後見の活用について。

【第8回】 平成31年 2月13日(水) 19：00～20：30　　参加者16人
あお薬局　松山氏より30分間事例紹介したのち、自分だったらどんな支援が提供できるか、4グループに分かれて討議、発表を行った。　　アンケート回答10枚（62.5%）

1. 本日参加されての感想をお聞かせ下さい。特に印象に残っている事等あればお聞かせ下さい。

認知症の方の薬の支援は良いテーマでした。
薬局とケアマネのやり取りがないというところ、気になりました。利用者さんの利用する薬局にできるだけ挨拶に行こうと思いました。
とても有意義な研修でした。いろいろな意見を聞き取りしました。
勉強になりました。薬剤師とケアマネの連携(外来の時)が難しいことが分かりました。
行動(暴れたり等)には、何か理由がある。その理由を探すことが大切。薬に頼らずに大切に心がけたいと思います。
薬剤師さんからのいろいろなお話を聞くことができて良かった。薬剤師さんも認知症の方の対応にご苦労、ご心配され、いろいろ配慮されていることを知ることができた。
ケアマネージャーのついてるとか分からない。介護保険証にのってると言っても、法的に見せてもらう強制力がないとおっしゃったので、自分たちで窓口をふさいでいるのでは…？
多職種の方々の問題点や対応内容などを教えていただき、大変勉強になりました。
複数の医療機関からの薬を一包化してもらえることを知りませんでした。周辺症状には”理由がある”ってことを再認識させていただきました。
ふだんあまり関われていない薬剤師の方の現場の話を聞けたことは良かった。

2. 現在、認知症の事でお困りの事やお困りのケースはありますか。

本人がというより、家族が精神的に支援が必要。
独居で、一人で外出に行く人。認々介護の方。
ご家族のある方なら、いろいろな方法、ケースを考えやすいが、おられない方の独居の場合は難しそう
日中、認知症の方が精神変化(不穏)をなるべくおこさないようにするにはどうすればよいか。また、精神変化が起きたときの対処の仕方が難しい。
あるけど、短時間では書ききれない。
ご本人が認知症の認識(病識)が薄い方をどうサービスにつなげていくのかが難しい。
認知症初期段階または、可能性のある患者様への病院受診の促し方。

3. 今後この研修会で学びたいこと等あればお聞かせください。

今回の事例検討や研修会のこと、お話を聞いて勉強できるようなこと。

認知症だけでなく他の疾病についても勉強したい。

認知症上の初期段階での各職種の対応方法など。

多職種交流会、大歓迎です。今後もよろしくお願いします。